



三重なす塔



学校三者評価(生徒・保護者・職員アンケート)結果から

年の瀬も迫って参りました。本年も本校の教育活動にご理解、ご支援賜りましたこと、御礼申し上げます。

さて、青木中学校で2学期末におこなった、生徒、保護者、職員の三者アンケート結果(各々、一部抜粋)をここに報告します。アンケートは、各質問に対して、[A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない]の四つからの選択であり、全体に対してのAとBの合計の割合を%で表してあります。なお、評価は、AとBの割合 80%以上で◎、60%以上で○、60%未満で△、と表しています。

生徒アンケートより

	アンケート項目	AとBの割合	評価
目指す学校の姿	① お互いの立場を尊重し合いながら、友達と学び合いができている。	91%	◎
	② 先生や友達と明るいあいさつや、元気のよい返事が自分からできている。	82%	◎
	③ 清掃に、時間いっぱい取り組むことができている。	84%	◎
	④ 音楽集会などで、みんなと大きな声で歌うことができている。	87%	◎
	⑤ 朝読書の時間などで、読書に親しむことができている。	90%	◎
	⑥ 学校内の生活で、時間を守って行動することができる。	92%	◎
学力向上	⑦ 授業で自ら進んで追究や発言をしている。	46%	△
	⑧ 宿題や提出ノートなどを毎日行っている。	77%	○
	⑨ 授業や家庭学習で、その日学んだことの振り返りや復習をしている。	48%	△
	⑩ グループ学習のときなど、積極的に意見を出したり聞いたりしている。	69%	○
	⑪ ゴテラなどに参加し、授業以外でも力をつけようと努力している。	47%	△
開かれた学級・学校	⑫ 学級は安心して過ごすことができる場所だと感じている。	79%	○
	⑬ 困ったことや悩みなどを、先生や友達に相談することができる。	62%	○
	⑭ 生徒会活動や学級の係活動に、積極的に取り組んでいる。	83%	◎
	⑮ 部活動に対して目標を持って、主体的に取り組んでいる。	86%	◎
	⑯ 学校に来るのが楽しいと感じている。	70%	○
	⑰ 自分には よいところ(長所)がある。	65%	○
	⑱ 人の役に立ったなと感じられる行動をとったことがある。	75%	○

保護者アンケートより

豊かな人間性	① 学校は、挨拶の充実に取り組み、生徒は校外でも明るく気持ちよい挨拶ができている。	80%	◎
	② 学校は、ゴミなどがなく、掲示物が充実し、学校環境が整っている。	98%	◎
	③ 学校は、歌声の充実に効果を上げている(文化祭等)。	92%	◎
	④ 学校は、読書環境や読書活動を工夫し、生徒の読書を充実させている。	91%	◎
	⑤ 学校は、将来の生き方をよく考え、豊かな心をもった生徒を育てようとしている。	89%	◎
	⑥ PTA活動は、生徒の自立心や豊かな人間性の育成に効果を上げている。	89%	◎
学力向上	⑦ 学校は、分かりやすい授業づくりに努めている(授業参観等)。	79%	○
	⑧ 学校は、基礎・基本の学力を身につけるため、個別指導や補充学習に力を入れている。	85%	◎
	⑨ 学校は、規律ある授業づくりに努めている(私語なし 挙手発言 言葉遣い等)。	81%	◎
家庭での	⑩ 子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	75%	○
	⑪ 子どもは、積極的に部活動に参加している。(入部している生徒の家庭のみ)	89%	◎
	⑫ 子どもは、自尊感情をもっていたり、自分の長所に気づいていたりする。	64%	○
	⑬ 子どもは、家や地域で挨拶をしている。	73%	○
	⑭ 子どものテレビ・ゲーム・パソコン・SNS等の利用は適切である。	52%	△

様子	⑮	子どもは、決め(られ)た時間は家庭学習をしている。	48%	△
	⑯	子どもは、家で手伝いをしている。	58%	△

職員アンケートより

実現したい姿	①	学び合いのできる学校(授業)に向けて努力している。	100%	◎
	②	挨拶、返事ができる学校をめざして、率先して行動している。	100%	◎
	③	清掃時には、生徒の活動が向上できるように取り組んでいる。	87%	◎
	④	歌声の響く学校に向けて努力している。	83%	◎
	⑤	読書活動の充実に向けて努力している。	77%	○
授業づくり	⑥	「ねらい」、「めりはり」、「見とどけ」(三観点)のある授業をしている。	86%	◎
	⑦	見通しをもって学ぶ授業の流れの提示や、生徒が問いをもてる学習問題の提示をしている。	79%	○
	⑧	視聴覚教材の準備、学習形態の変化など、工夫のある授業展開をしている。	86%	◎
	⑨	授業後や、単元末での(学習内容の)「振り返り」の時間を確保している。	86%	◎
他	⑩	体罰、個人情報流出等の非違行為防止、交通法規遵守に努めている。	100%	◎

- ・昨年度より、「自尊感情(自己肯定感)」に関わる項目をアンケートに取り入れています(生徒アンケート⑰⑱、保護者アンケート⑫)。当該項目の生徒評価、保護者評価はともに高くはありませんが、本年度、自尊感情についての校外研修を受ける中で、ある程度低い結果であっても、それを取り立てて問題視する必要はないという示唆を得ました。具体的な理由として、特に中一、中二の時期は自分を他者と多面で比べてしまう時期であるが故に必要以上に劣等感を抱いてしまったり、また、教科担任制の中学校は小学生時代とは異なり、担任教師との繋がりがどうしても薄くなったりするなど心が不安定になる要素が幾つかあるといったものが挙げられます。よって、この時期に大事なことは、お互いの思いを生徒同士が共有できる場を数多く教師がもたせることであり、その繰り返しの中で、生徒の心の安定も少しずつ保たれていくということです。なお、一般に、中三になると自尊感情は高まっていく傾向があり(部活動でいえば、技量の質が上がることや責任ある立場を任せられること、日常生活でいえば、友達との交流が深まることなどがその理由です)、本校もその例外ではありません。
- ・本年度は学校にタブレットの導入があり、ICT教育の充実(職員アンケート⑧)が急務となっています。その推進に向けて、本年度は校内にてICT教育研修会を数回もつなど職員も研鑽を積んできました。職員評価を見ると、評価の数値自体は悪くありませんが、教科によって取り組みの差がまだ見られています。そこで2学期には、ICT教育に関わるプロジェクトチームを校内で立ち上げました。このプロジェクトチームの答申にも記されている、授業での実践事例の蓄積に今後は力を入れていき、ICT教育の充実を図っていきたいと考えています。
- ・学校として気になっているのは、生徒がYouTubeに代表されるネットとつながっていたり、SNSに費やしたりする時間が顕著に増えている実態です(保護者アンケート⑭⑮)。深夜、時には未明までYouTubeを閲覧していたという生徒の姿が実際にあることや、社会現象としてネット依存が声高に叫ばれている世相を鑑みれば、例えば学校と家庭が共同で行うノーメディアウィークを設定していく必要もあるべきと感じています。

1月の予定

8日(火)3学期始業式 9日(水)3年総合テスト PTA三役会(18:30～) 10日(木)1年発育測定
 11日(金)2年発育測定 14日(祝月)上小地区アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)
 15日(火)3年発育測定 16日(水)漢字道場
 17日(木)PTA三役役員合同会(18:30～) 21日(月)集金日 ゴテラ
 22日(火)小6中学校体験入学・部活動見学 25日(金)英語検定
 26・27日(土・日)県中学校バレーボール選抜優勝大会(男子バレー部)



【放射性物質検査結果について】 12月の学校給食用食材の長野産リンゴ、愛知県産キャベツから放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。